



はじめに

お手にとっていただきましてありがとうございます。このたびのご縁に感謝いたします。

突然ですが、なぜ私がと思われるでしょうか。

私は職場を離れて40年近くになる専業主婦です。長い間人知れず軒下から世界の流れを見守ってきました。わが家に降りかかる幾多の災難を乗り越えて、人は強くなるのだと思います。

これまでの道のりは「もう怖いものがなくなる！」と思えるほど、数多のつらく厳しい道のりでしたが、私なりのやり方で「不幸の連鎖」が起きてしまわないように！逃げずにしっかりと向き合うことで対処することを覚えていきました。

ご先祖様となった父の教えは、守り神として今も私の中で大切に生きています。最後まで人を貶めず攻撃せずの姿勢で、傷ついている人を元気にするような縁の下の力持的存在でした。それは人知れず苦勞しての「人に優しく」です。

もしあなたが仮に落ち込んでいて、抜け出せない迷路に迷い込んでいるのなら、あまり自分を追い詰めてしまわないように、失敗や人に笑われるようなことが起きても、完



壁さを求めすぎずに、できることをやったあとは「人間なもの」と笑って自分を受け止めてあげてください。サラッとそこから抜け出していきましょう。

風の時代の歩き方を理解していくことで、生きやすくなることもあるかもしれません。あまり人の言うことに合わせすぎると、それに慣れてしまいお互いのバランスが保てなくなるのです。そんなときは頑張った自分にご褒美をあげて、自分だけの時間を作ってあげてください。

常に自分軸をしっかり保ち、無駄な争い事から離れていれば、人のことは気にはならないものです。これまで私はそんな生き方をしてきました。

紙の時代に育ちましたので、今でも大切なことは情報に埋もれてしまわないように「手書きのオリジナルノート」を残しています。女子高生に人気のカラフルなシールを用いて、わかりやすいマイノートが完成します。あるとき文房具コーナーでシールを選んでいましたら、親子連れの会話が聞こえてきました。

「アンパンマンにするの？」と母親は聞いています。小さな男の子は恥ずかしそうにモジモジしています。「このシールはトイレがちゃんとできたら貼ってあげる」と言われたアンパンマンのシールは、子どもの成長にとってたいへん



重要な達成感を担うことになりました。

時代の変化は携帯からスマホになり、そして一人に一台のパソコンが必要になってきます。コロナ禍（COVID-19）では、リモート導入で学生も個人専用のパソコンが必要になりました。世界から見たら日本はいろいろな面で、遅れているようです。アフリカのサバンナで、現地の方がスマホでリアルな株や不動産取引をしているという時代です。

ネットの株式投資、為替取引FX、仮想通貨は暗号資産へ。プロ並みの速さで24時間、リアルタイムでプロのテクニックを伝授されるようになりました。為替証拠金取引の世界で「着物トレーダー」と呼ばれた個人の方がいます。

日本タイムになると流れが変わる！ 世界情勢と思惑をプロの目線で伝授されます。行動心理学や黄金比率、波動論、潮の満ち引きなどアノマリーまで、たくさん学ばせていただいたことは、たいへん感謝しております。怖い場面で学んだ「対処能力」は後々の生き方におおきく反映されていくことになります。

そして家族の災難もあって、やっと平和が訪れるようになったころに、私の身体に外科手術を伴う病気が見つかりました。乳がんの宣告です。医師の説明を受けているうち



に、混乱することなく冷静に対処できたのは、時を忘れるほど熱中していた「金融取引」の学びがあったからだと思います。感情の深追いはせず！ です。

その後の金融取引は一部を除いて身を引くことにしました。いやなことから距離を置いて、忘れようと必死で夢中になっていた自分への「断ち・捨て・離れる」です。「もったいない」世代ですが、潜在意識を呼び覚ます「断ち・捨て・離れる」の奥の深さを知ることになります。

当時の「株の掲示板」を見ていると生活の浮き沈みが激しくて、身が引き締まりました。

専業主婦は向かないと言われた理由は、常にどこかで家のことを考えているからだと言われます。

あるとき、いきすぎってしまった主婦の断末魔が聞こえました。手軽にネットで借りられるようになって、被害が大きくなっているようでした。信用取引をして大金を手にする人たちの中でも、破産を経験している人が少なくありません。株の掲示板の一期一会です。「掲示板」の彼らからその後の事実確認をしてから、対処の仕方をアドバイスされていました。やるしかないけれど、同志の言葉はなんとかなるのだと思えます。



大きな不安の中で冷静な判断ができるかどうかは、大きな分かれ目です。さまざまな困難や「疑似体験」を経験して、考え方もシンプルに近づいていきます。親戚の軋轢や無理難題、子育てのジレンマに100%無理がかかります。

強烈なストレスは、「脳が病気を作り出し、痛みに変換していく」のです。直感力重視の風の時代の『一期一会』を学びます。これまで「蚊帳の外側から社会を見ていた世界」でしたが、このたびは桜のご縁に導かれました。

この本が少しでもお悩みを抱えている方の「人生好転」のキッカケになりますことを願っています。若者から孤独なお年寄りまで、見えない誰かに見守られていることに気づいてほしくて書きはじめました。

身体は老いても、心までは“生涯現役”で老いてほしくないと思っています。自分に降りてくる直感力を信じて、「明るい未来の創造主」になっていきませんか。自分の人生の主演はあなた自身です。

ある日テレビを観ていて「若者って言ったら古いの？」ふと気になりまして、ゆとり世代の子に聞いて初めて知りました。Z世代って何ですかー？ 私だけ知らなくて。**【ジェネレーションZ】**とは、生まれながらにしてデジタルネイティブの子どものことです。



バブル時代の後遺症で親に頼れない情報過多の環境で育ち、取捨選択をして必要な情報を得やすい子たちのことを指すようです。それって60過ぎでも仲間に入れますか。“感性”を日々の暮らしの中で育てていく時代にいます。